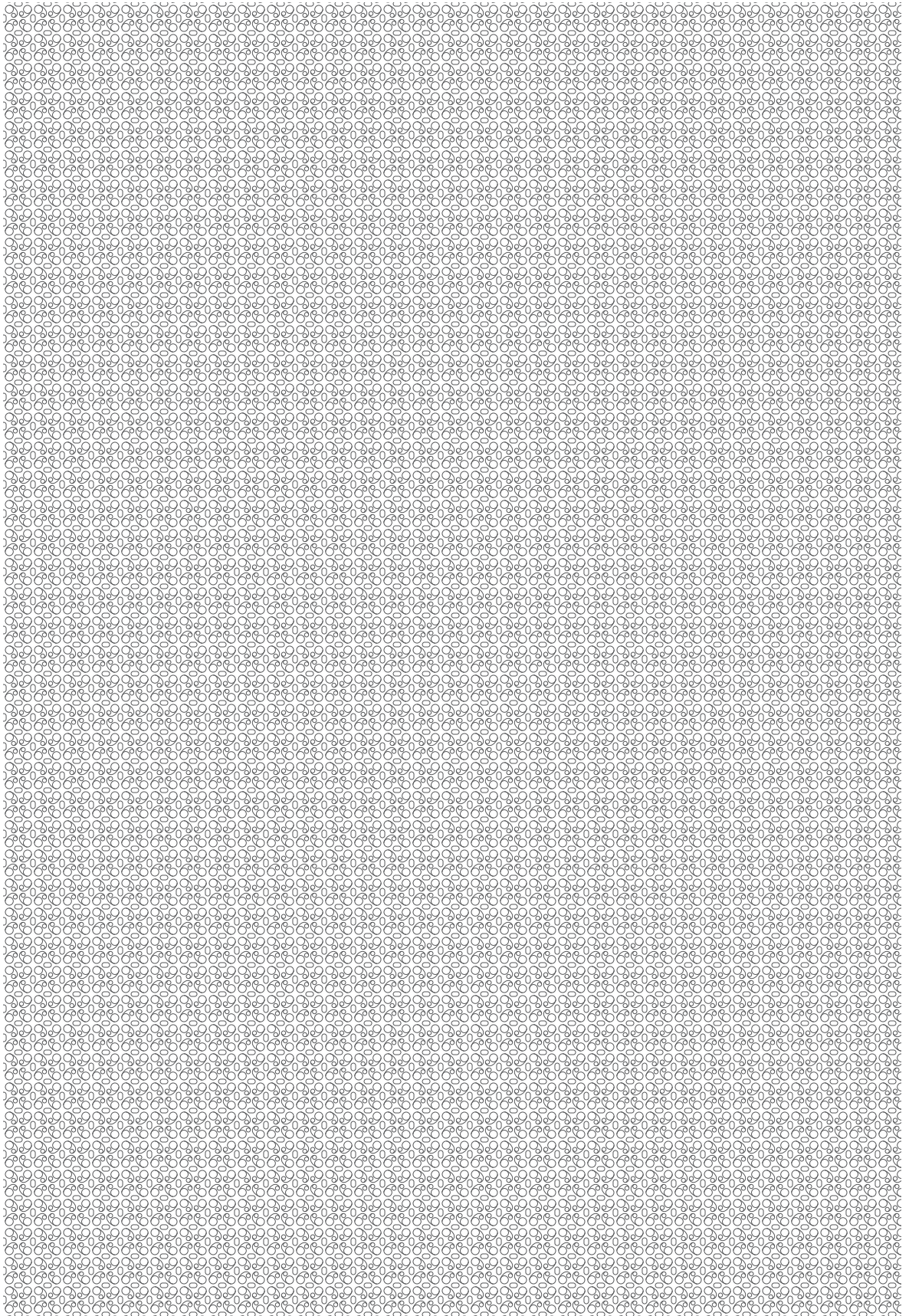


2026年度入学試験問題

世界史

(試験時間 13:25～14:25 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、マーク解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄にマークしてください。解答欄以外にマークすると無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、一度マークした箇所を修正する場合、しっかりと消してください。消し残りがあると、解答が無効となることがあります。また、消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入・マークしてください。未記入や記入・マークミスなどがあった場合は、当該科目の解答は無効になります。



I 日比谷焼き打ち事件に関する以下の文章を読み、設問に答えなさい（引用文には、省略したり、改めたりしたところがある）。（20点）

明治時代の終わりごろから大正時代にかけて、東京を中心とした全国の都市で、人びとが、政府や自治体のなんらかの政策に抗議して集会を開き、警察署や交番、路面電車に放火したりする事件があいついでおきました。これを、現代の研究者は「都市民衆騒擾^{そうじょう}」と呼んでいます。その都市民衆騒擾の時代の幕開けとなったのは、1905年9月5日の日比谷焼き打ち事件です。

① 興味深いのは、この一連の焼き打ちは、ずっと同じ人がくりかえしやっていたわけではないという点です。つまり、お互い顔見知りではない人たちがあつまって焼き打ちをやっているわけです。都市民衆騒擾で暴れている人たちは、そのとき一回きりの集団で、継続性というものはありません。

事件のきっかけは、政治家・活動家たちが集会を開いたことでした。しかし、その後の焼き打ちのひろがりには、そうした集会主催者が指導しておこしたものではなく、自然発生的にひろまっていったものです。なにかきっかけがあれば爆発するような不満が、都市民衆のあいだにたまっていたと考えるほかありません。

都市民衆騒擾は、実に三つの内閣を倒しています。1913年の暴動では（ A ）首相が（ B ）で、1914年には山本権兵衛首相がジーマンス事件で、そして1918年には（ C ）首相が（ D ）で退陣に追い込まれたのです。騒擾による社会の混乱を背景に、首相の責任が問われて内閣が倒れるのです。

そして、都市民衆騒擾にはきまったパターンがあり、これは日比谷焼き打ち事件からほぼ同じです。年齢をみると、15歳から25歳までの参加者が全体の6割から7割前後を占めます。さらに重要なのは、1905年の日比谷焼き打ち事件から、1918年の（ D ）まで、この世代の参加者が多いという傾向が変わらない、ということです。つまり暴動参加者は、この13年間に入れ替わっています。その時々「若い男性」が、暴動で暴れる主役だったわけです。

この若い男性たちの職業はどうだったかといえば、職人、工場労働者、人力車夫や日雇い労働者などの比率がどの暴動でも高い値を示しています。

つまり、20世紀のはじめ、明治の終わりから大正初期にかけて、東京では「若い」^③

男性の都市下層民たち」が、なんらかの政治集会が開かれると、それをきっかけに暴動をおこすということが繰り返しおきていたのです。

明治社会の生きづらさ、息苦しさ、若い男性がくりかえし暴動をおこすこととの間にはどのような関係があるのでしょうか。都市下層の若者は、明治時代の主流の価値観に対して、それにあえてさからう価値観をもっていたのです。

がんばって働き、節約して貯蓄すれば、かならず経済的に成功をおさめることができる。④ 貧困におちいるのは、がんばっていないからだ。これが、明治時代のメインストリームの価値観、「通俗道徳」でした。ところが、都市下層民たちは、実際にはそのような可能性は奪われています。毎日働いても貯蓄はできません。いくらがんばったところで、豊かになる道は閉ざされているのです。そういう状況の中に置かれた若い男性は当然やりきれない思いをかかえます。そこで、彼らは「あえて」通俗道徳にさからってみせます。

そういうのが、「かっこいい」、あるいは「男らしい」。そういうカルチャーが、都市の若い男性労働者たちの間に広まっていったというのです。⑤ 主流の文化に対する「対抗文化」です。政治集会をきっかけに、若い男性のかかえるやりきれなさが、主流の価値観からみれば悪いことに決まっている、建造物の破壊や放火というかたちで噴出してくる。それは、そのような危険な行為への参加を「かっこいい」という若い男性労働者のカルチャーがあったからだ、というのです。

問1 下線部①に関連して、この事件の背景となった戦争について述べた文として正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 日本を含む列強が義和団を鎮圧し北京を占領した。
- イ. 日本はシベリアに出兵し、列強の中では最後に撤兵した。
- ウ. 日本は台湾などの領土を得たが三国干渉に遭った。
- エ. 日本は日英同盟を根拠に参戦し膠州湾租借地などを占領した。
- オ. 日本は樺太（サハリン）の一部などを得たが賠償金は得られなかった。

問2 下線部②に関連して、この時期の出来事を次から2つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ソ連でスターリンが実権を掌握した。
- イ. インドで全インド=ムスリム連盟が結成された。
- ウ. 朝鮮が国号を大韓帝国とした。
- エ. ムスタファ=ケマルがトルコ共和国を樹立した。
- オ. 日本が中華民国に二十一カ条の要求を提出した。

問3 下線部③に関連して、明治から大正にかけ日本で起きた出来事を古い順に並べた時3番目に来るものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 大日本帝国憲法が發布された。
- イ. 地租改正を行った。
- ウ. 日英同盟が結ばれた。
- エ. 大逆事件が起きた。
- オ. 治安維持法が制定された。

問4 下線部④に関連して、日本の経済政策について述べた文として正しいものを次からすべて選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 国家総動員法は政府が議会にはかることなく物資や労働力を徴発できることを定めた。
- イ. GHQは財閥解体や農地改革を指示した。
- ウ. 岸信介は所得倍増計画を打ち出した。
- エ. 中曽根康弘は国鉄民営化を実施した。
- オ. 細川護熙もりひろは郵政民営化を実現した。

問5 下線部⑤に関連して、日本の社会と文化について述べた文として誤っているものを次から2つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 関東大震災で流言により多くの朝鮮人や中国人が殺害された。
- イ. 小林多喜二が警察の拷問により死亡した。
- ウ. 平塚らいてうや市川房枝らが全国水平社を結成した。
- エ. 大戦景気によって物価が急激に上昇した。
- オ. 関東地方を中心に農業恐慌が発生した。

問6 空欄（ A ）～（ D ）に入る語句の組み合わせとして正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. A：桂太郎 B：憲政擁護運動（第一次護憲運動） C：寺内正毅 D：米騒動
- イ. A：寺内正毅 B：米騒動 C：桂太郎 D：憲政擁護運動（第一次護憲運動）
- ウ. A：桂太郎 B：米騒動 C：寺内正毅 D：憲政擁護運動（第一次護憲運動）
- エ. A：寺内正毅 B：憲政擁護運動（第一次護憲運動） C：桂太郎 D：米騒動

Ⅱ ヨーロッパの人口に関する以下の文章を読み、設問に答えなさい（引用文には、省略したり、改めたりしたところがある）。（40点）

① 紀元 1000 年ごろから、ヨーロッパの人口は 3 世紀間続く増大局面に入った。データは少なく断片的であるが、人口増大の証拠は確実にある。定住地が増え、都市が新たに建設され、放棄されていた土地にひとが住むようになり、耕作は次第に肥沃とはいえない土地にまで広がっていった。この 3 世紀間でヨーロッパの人口は 2 倍ないし 3 倍となったが、それは頻発する危機によっては抑制することができない潜在成長力があったということである。13 世紀末および 14 世紀になると、増加のサイクルは明らかにその勢いを失った。危機はさらに頻繁となり、定住地は増えなくなり、人口はあちこちで停滞した。このような停滞は複雑な原因の結果であろうが、おそらく、肥沃地の枯渇、技術進歩の停止、気候条件悪化による不作の頻発によって農業経済が活力を失ったことと無関係ではない。② それは、人口が資源とのよりよいバランスを求め、次の成長サイクルへ向かう調整期だったのかもしれない。ところが逆に、14 世紀中葉に突然の、しかし影響が長期に及ぶ激変が起きた。1340 年と 1400 年の間に人口はほぼ（ A ）減少し、次の世紀の前半期も減り続け、その後ようやく回復が始まった。ただこれによっても、16 世紀中頃までは人口を危機以前の水準にまで引き戻すことはなかった。

激変の原因はペスト [黒死病] であった。1347 年、最初にシチリアで出現してから、1352 年にロシアへと到達するまで、ペストはヨーロッパ大陸全土を横断した。④ 1348 年の末には、ペストはイタリア、イベリア半島、フランスの一部とイングランド南部に達していた。1349 年末には、ノルウェー、フランスの他の地方、ライン川流域、スイス、オーストリアとダルマティアの沿岸部に拡がり、1350 年から 52 年にはドイツからポーランド、ロシアへと東方に向かった。人口が約 8000 万人であったヨーロッパにおいて、この伝染病の死者はその何分の 1 かに達した。

⑤ 1347 年にヨーロッパを襲ったペストは新しい現象ではなかったが、ユスティニアヌス期のペスト以来、6～7 世紀間も現れていなかった。⑥ 541 年から 544 年にかけて地中海に蔓延し、イタリアを苦しませ、ヨーロッパ、とくに地中海沿岸には 558-561 年、および 599-600 年と、連続した波状的流行があった。それは東洋に 8 世紀中頃ま

で残り、流行は局地化されたけれども、ヨーロッパに影響を与え続けていた。

1347年9月、何隻かのジェノヴァのガレー船がメッシーナで荷を降ろしたことが、細菌学上長く続いた平和の世紀を中断した。これらの船は黒海の港から来たのだが、^⑧そこでは東方起源のペストが荒れ狂っていたのである。すでに述べたように、4～5年の間にこの病気は全大陸を席捲した。そしてこれは、一連の流行の第1波であった。イタリア（その進行は他のヨーロッパでも少しも変わらなかった）では、これらの波は1360-63年、1371-74年、1381-84年、1388-90年、1398-1400年と襲ってきた。15世紀にも、同時発生の勢いと厳しさは弱まったが、ペストはたびたび起こった。

1340-1400年のトスカナ地方について私が計算したところでは、重大な死亡危機——死亡数が平常年の少なくとも3倍になった場合と定義する——は平均して11年ごとに起こり、死亡数の平均増加数は少なくとも7倍に達した。1400-50年には、この危機は平均して13年ごとに起こり、死亡数は5倍に増加した。次の半世紀（1450-1500年）には、平均間隔は37年、死亡数の増加は平均4倍に低下した。時間の経過とともに危機の頻度と程度は低下し、発生の地理的同時性も同様に低下した。ただ、トスカナが多量の史料が残存している例外的な地域であることは心に留めなければならない。

続く2世紀間も、ペストの猛威から逃れることはできなかった。それは1522-30年のサイクルから始まり（シャルル8世の死に続く戦争によって悪化した）、1575-77年（とくに北部）、1630-31年（中北部）、1656-57年（とくに中南部）に至った。これらペストの発作は恐るべきものであったが（チポラは、1630-31年に中北部を襲ったペストによって人口の4分の1以上が消滅したとしている）、それはもはや前世紀にあった大災害ほどではなかった。他の危機（たとえばチフス）もペストと競合した。いくらかの違いはあるが、イタリアの経験は全体としてヨーロッパにも当てはまるであろう。^⑩1663-70年の流行がイングランド（デフォーによって、1664年ロンドンのペストとして記述されている）、北フランス、低地諸邦、ライン川流域を襲った後、ペストは広範囲の地理的出来事としてはヨーロッパから姿を消した。^⑪1720-22年のプロヴァンスや他のわずかの事例は限定的なものであった。

問1 下線部①に関連して、以下の(い)～(は)の出来事は紀元1000年以前の歴史上の出来事を表す。それぞれの出来事を歴史の古い順に並び替えた時の順序として正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- (い) ニハーヴァンドの戦いが起こった。
- (ろ) カタラウヌムの戦いが起こった。
- (は) スパルタクスの反乱が起こった。

- ア. (い) → (ろ) → (は)
- イ. (い) → (は) → (ろ)
- ウ. (ろ) → (は) → (い)
- エ. (ろ) → (い) → (は)
- オ. (は) → (い) → (ろ)
- カ. (は) → (ろ) → (い)

問2 下線部②に関連して、歴史上起こった技術進歩に関する説明として誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. クロンプトンがミュール紡績機を開発した。
- イ. ハーグリーブズが蒸気機関を発明した。
- ウ. モース（モールス）が電信機を発明した。
- エ. エディソンが電灯（白熱電球）を発明した。

問3 下線部③に関連して、以下の(い)～(は)の出来事は20世紀以降の気候問題に関する出来事を表す。それぞれの出来事を歴史の古い順に並び替えた時の順序として正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

(い) リオデジャネイロで地球サミットが開催された。

(ろ) 京都議定書が採択された。

(は) パリ協定が採択された。

ア. (い) → (ろ) → (は)

イ. (い) → (は) → (ろ)

ウ. (ろ) → (は) → (い)

エ. (ろ) → (い) → (は)

オ. (は) → (い) → (ろ)

カ. (は) → (ろ) → (い)

問4 下線部④に関連して、以下の(い)～(は)の出来事はロシアに関する歴史上の出来事を表す。それぞれの出来事を歴史の古い順に並び替えた時の順序として正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

(い) 英露協商が結ばれた。

(ろ) 血の日曜日事件が起こった。

(は) ニコライ2世が退位する、二月(三月)革命が起こった。

ア. (い) → (ろ) → (は)

イ. (い) → (は) → (ろ)

ウ. (ろ) → (は) → (い)

エ. (ろ) → (い) → (は)

オ. (は) → (い) → (ろ)

カ. (は) → (ろ) → (い)

問5 下線部⑤に関連して、第一次世界大戦末期から終戦後にかけて、世界で「()風邪」と呼ばれる伝染病が猛威を振るった。空欄に入る国名のおおよその所在地として正しいものを地図中のア～オから1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。ただし、各国の国境線は現在のものとする。

著作権の関係により、掲載ができません。



問6 下線部⑥に関連して、ユスティニアヌスに関する説明として誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. テトラルキア（四帝統治）体制を制定した。
- イ. 北アフリカのヴァンダル王国を滅ぼした。
- ウ. イタリアの東ゴート王国を滅ぼした。
- エ. 『ローマ法大全』の編纂を命じた。

問7 下線部⑦に関連して、紀元 600 年以前に起こった出来事ではないものを次から 1 つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 西ローマ帝国がオドアケルによって滅ぼされた。
- イ. フン人が西進して、東ゴート人を征服した。
- ウ. ピピン（ピピン 3 世）がカロリング朝を開いた。
- エ. クローヴィスがメロヴィング朝を開いた。

問8 下線部⑧に関連して、19 世紀後半に細菌学の発展に寄与した人物の組み合わせとして正しいものを次から 1 つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. コッホとレントゲン
- イ. レントゲンとノーベル
- ウ. キュリー夫妻とノーベル
- エ. コッホとパストゥール

問9 下線部⑨に関連して、シャルル 8 世はフランス国王であるが、歴代のフランス国王に関する説明として正しいものを次から 2 つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ルイ 13 世はヴェルサイユ宮殿を建造した。
- イ. ルイ 14 世は宰相リシュリューによって支えられた。
- ウ. ルイ 16 世は免税特権をもつ身分への課税を含む財政改革を試みた。
- エ. ルイ 18 世に続く王位はシャルル 10 世によって継承された。

問10 下線部⑩に関連して、以下の (い)～(は) の出来事は 17 世紀後半のイギリスに関する出来事を表す。それぞれの出来事を歴史の古い順に並び替えた時の順序として正しいものを次から 1 つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- (い) ウィリアム 3 世とメアリ 2 世は権利の章典を制定した。
- (ろ) 重商主義に基づく航海法が制定された。
- (は) チャールズ 2 世を王とする王政復古が起こった。

- ア. (い) → (ろ) → (は)
- イ. (い) → (は) → (ろ)
- ウ. (ろ) → (は) → (い)
- エ. (ろ) → (い) → (は)
- オ. (は) → (い) → (ろ)
- カ. (は) → (ろ) → (い)

問11 下線部⑪に関連して、18 世紀に起こった出来事に関する説明として誤っているものを次から 1 つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. フレンチ=インディアン戦争が起こった。
- イ. デイドロヤダランベールが編集した『社会契約論』が刊行された。
- ウ. スペイン継承戦争が起こった。
- エ. 『国富論』（『諸国民の富』）の著者であるアダム=スミスが登場した。

問12 空欄 (A) には、(西)ヨーロッパにおいて 14 世紀に流行したペストによって失われた当時の人口の比率が入る。その数値として正しいものを次から 1 つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 3 分の 1
- イ. 5 分の 1
- ウ. 7 分の 1
- エ. 10 分の 1

Ⅲ 以下の文章を読み、設問に答えなさい。(40点)

ヨーロッパの歴史学において「近世」とは、ルネサンス、宗教改革、絶対王政の成立、そして大航海時代の展開などによって特徴づけられる時代である。

一方で、非ヨーロッパ地域における「近世」をどのように定義するかについては、いくつかの方法が存在する。第一に、ヨーロッパの「近世」に見られる現象——たとえば絶対王政の成立、市民階層の台頭、文化の世俗化など——が当該地域にも存在するかどうかを基準とする方法がある。この方法では、社会構造や経済形態がヨーロッパと類似しているかどうか重視される。しかし、たとえば中国は、皇帝を頂点とする官僚政治のもとで小農民が主に契約に基づく多様な生産関係を結んできた社会であるため、ヨーロッパのモデルをそのまま中国に当てはめて考えることは難しい。

そこで第二の方法として、当該地域の内部状況がヨーロッパとは異なっていたとしても、接触・交流、さらには植民地化といった支配関係の存在をもって同時代と見なす考え方がある。すなわち、同時期に存在し、相互に密接な関係を有していたという「共時性」に着目する立場である。この立場によれば、近世とは、世界が初めて互いに深く関係し合いながら共時的に変化した時代であり、その意義はヨーロッパ内の変化にとどまらず、アジア、アメリカ、アフリカを含むグローバルな視野で再検討されるべきものである。

近世において、世界を共時的に結びつけた主要因は、銀の世界的流通であった。1571年における「世界貿易」の誕生を論じたデニス＝フリンとアルトゥーロ＝ヒラルデスによる共著論文『銀のスプーンとともに生まれる：1571年における世界貿易の始まり』（1995年）は、単に品物の流通ではなく、「銀の流通」に焦点を当て、その銀の主要な需要国として「中国」に注目した。この視点の新しさは、これまでの大陸間交易の発展を西洋の拡張と捉えてきた見方に対し、中国こそがアメリカや日本からの銀を吸収する巨大な需要の中心であり、それこそが世界的な銀の流れを生み出した原動力であったと主張した点にある。

1571年、スペインは、フィリピンに建設したマニラと（ A ）とを結ぶ航路を確立した。この航路によって、銀がフィリピンに運ばれ、そこで中国産の生糸などと交換された後、最終的に中国へと流入した。明代後期の中国では、税制改革の一環と

して（ B ）が導入され、租税が銀で納められるようになったことから、銀の需要は一層高まった。このような「世界貿易」の誕生は、中国においては、それまで海禁政策のもとで朝貢貿易に限定されていた貿易統制を、次第に（ C ）する方向へと向かわせた。

この動きは、中国周辺の東アジア・東南アジアに、商業ブームおよび商業利益をめぐる激しい抗争を生み出した。この、ある意味では「グローバル化」ともいえる世界交易の発展期は、同時に東南アジアにおける激しい抗争の時期であり、かつ強力な新興国家の形成期でもあった。こうして、16世紀に成長・強大化した東南アジアの諸王国は、絶対主義的な国家を形成した。このような国家形成のあり方は、同時代のヨーロッパの動向とも一致する。

俯瞰的に見れば、近世には、ユーラシア大陸の東西の大洋に面した諸地域において、君主への権力集中の動きが同時代的に起こっていたとすることができる。この動きは、長距離交易に伴って流入・流出する銀の獲得をめぐる競争、火薬兵器の発展や歩兵戦術の変化、兵站制度の整備による戦争の大規模化・長期化、さらにそれに対応する常備軍の設置や徴税制度の整備といった軍事的・財政的変化を背景に進行した。これらの軍事的変革は「軍事革命」とも呼ばれ、ヨーロッパにとどまらず非ヨーロッパ世界にも類似の動きが見られた。また、王権に対抗する宗教勢力の弾圧あるいは包摂の試みも同時に進められた。いわば、世界的な銀の大流通が触媒となり、軍事と宗教をテコとした権力の集中が、大洋に面した地域で求心性の高い国家の形成を促進したのである。

近世は、世界的な宗教再編の時代でもあった。ヨーロッパでは宗教改革によってキリスト教がカトリックとプロテスタントに分裂し、それぞれの宗派は国家と結びついて宗派教会を形成する一方で、カトリックはヨーロッパで失われた勢力圏を取り戻すべく、世界宣教に乗り出した。宗教改革の影響が及ばなかったロシアにおいても、キリスト教と国家形成の動きは連動していた。

他方で、近世は、イスラーム教が勢力を拡大した時代でもあった。西アジア・南アジアに成立した大帝国は、いずれもイスラーム教を奉じていた。これらの大帝国はいずれも強力な君主を擁し、国家の統合を推進・強化していた。

問1 下線部①に関連して、「皇帝を頂点とする官僚政治」の礎を築いたのは秦の始皇帝であるが、彼がそのために導入した制度として正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 科挙
- イ. 九品中正（九品官人法）
- ウ. 均田制
- エ. 郡県制

問2 下線部②に関連して、フィリピンの名の由来となった人物の在位中の出来事として誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. エリザベス1世と結婚した。
- イ. オランダが独立を宣言した。
- ウ. 無敵艦隊が敗北した。
- エ. ポルトガル王位を継承した。

問3 下線部③に関連して、明代後期の中国社会の説明として誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 長江中流域の湖広にかわって、長江下流域が新たな穀倉地帯として発展した。
- イ. 景德鎮に代表される陶磁器の生産が活発化し、諸外国に輸出された。
- ウ. 山西商人や徽州商人が全国規模で活動し、巨富を築いた。
- エ. 『三国志演義』『水滸伝』『西遊記』などの庶民文学が人気を集めた。

問4 下線部④に関連して、16世紀の東アジア・東南アジアについての説明として正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 琉球王国が、中山王によって統一された。
- イ. 倭寇の撃退に功績のあった李成桂が、朝鮮を建国した。
- ウ. ポルトガルが、台湾を占領しアジア貿易の拠点とした。
- エ. アユタヤ朝やタウンゲー朝などの上座部仏教国が、米の輸出を通じて繁栄した。

問5 下線部⑤に関連して、非ヨーロッパ世界の「軍事革命」の事例として適切なものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

ア. オスマン帝国は、イエニチェリと呼ばれる常備軍を設置し、ティマール制による徴税制度を整備した。

イ. 織田信長は、鉄砲などの火器を活用して日本統一の事業を進めた。

ウ. サファヴィー朝は、火器を主力とする常備軍を整備してチャルディラーンの戦いでオスマン帝国に勝利した。

エ. ムガル帝国の礎を築いたバーブルは、大砲・鉄砲などの火器を活用してパーニーパットの戦いでロディー朝に勝利した。

問6 下線部⑥に関連して、ほぼ同時代の君主であるフランスのルイ14世とムガル帝国のアウラングゼーブの宗教政策についての説明として正しい組み合わせを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

W ナントの王令を発して、ユグノーの信仰の自由を認めた。

X ナントの王令を廃止して、ユグノーの国外流出を招いた。

Y ヒンドゥー教徒に対して人頭税を課し、強硬な宗教政策を取った。

Z ヒンドゥー教徒に対する人頭税を廃止し、融和的な宗教政策を取った。

ア. ルイ14世-W アウラングゼーブ-Y

イ. ルイ14世-W アウラングゼーブ-Z

ウ. ルイ14世-X アウラングゼーブ-Y

エ. ルイ14世-X アウラングゼーブ-Z

問7 下線部⑦に関連して、宗教改革についての説明として誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. カルヴァンは、予定説を唱えた。
- イ. ヘンリ8世は、国王至上法（首長法）を制定した。
- ウ. ツヴィングリは、ドイツ農民戦争を指導した。
- エ. ルターは、『新約聖書』をドイツ語に訳した。

問8 下線部⑧に関連して、世界宣教を行ったイエズス会についての説明として誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ザビエルが、日本にキリスト教を伝えた。
- イ. ロヨラによって、創設された。
- ウ. 康熙帝によって、中国での布教を禁じられた。
- エ. マテオ=リッチが、「坤輿万国全図」を作成した。

問9 下線部⑨に関連して、16世紀のロシアについての説明として正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ピョートル1世が、西欧化政策を取った。
- イ. イヴァン4世が、ツァーリの称号を公式に用いた。
- ウ. ウラディミル1世が、ギリシア正教を国教とした。
- エ. ミハイル=ロマノフが、ロマノフ朝を開いた。

問10 下線部⑩に関連して、16世紀にアフリカに存在したイスラーム教国として正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ソンガイ王国
- イ. アクスム王国
- ウ. マリ王国
- エ. ムラービト朝

問11 下線部⑪に関連して、近世の西アジア・南アジアに成立したイスラーム教の大帝国（王朝）のうちで、シーア派を奉じていた帝国（王朝）の説明として正しいものを次から2つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 神秘主義教団によって建てられた。
- イ. ミッレト制と呼ばれる宗教的自治制度があった。
- ウ. マンサブダールと呼ばれる官僚制度を整備した。
- エ. トルコ系遊牧民によって建てられた。
- オ. コンスタンティノープルを攻略した。
- カ. タージ=マハルを建築した。

問12 下線部⑫に関連して、帝国（王朝）と、強力な君主との組み合わせとして正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

【帝国（王朝）】 あ：オスマン帝国 い：サファヴィー朝 う：ムガル帝国
【強力な君主】 X：アクバル Y：アッバース1世 Z：スレイマン1世

- ア. あ-X い-Y う-Z
- イ. あ-X い-Z う-Y
- ウ. あ-Y い-X う-Z
- エ. あ-Y い-Z う-X
- オ. あ-Z い-X う-Y
- カ. あ-Z い-Y う-X

問13 空欄（ A ）に入る都市名として正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. カリカット
- イ. ゴア
- ウ. アカプルコ
- エ. マカオ

問14 空欄（ B ）（ C ）に入る語句の組み合わせとして正しいものを次から
1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. B：一条鞭法 C：強化
- イ. B：一条鞭法 C：緩和
- ウ. B：地丁銀制 C：強化
- エ. B：地丁銀制 C：緩和

問15 中国の歴史学においては、宋代から明代・清代にかけての時代区分をめぐる、
次の①と②の2つの立場の対立が見られた。それぞれの立場は、問題文の冒頭部
分に示された時代区分の方法のうち、第一の方法と第二の方法のいずれに対応す
ると考えられるか。問題文を参考に、最も適切な組み合わせを次から1つ選び、
マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 庶民層の台頭や新たな文化の発展が見られたことから、ヨーロッパのルネサ
ンス期と同様の「近世」に相当するとする立場。
- ② 土地所有関係に着目すると、地主制に基づく農村社会が継続していたことか
ら、中国社会はなお「封建的」であり、「中世」にとどまっていたとする立場。

- ア. ①：第一の方法 ②：第一の方法
- イ. ①：第一の方法 ②：第二の方法
- ウ. ①：第二の方法 ②：第一の方法
- エ. ①：第二の方法 ②：第二の方法

